

「急いでいるときこそ一呼吸 譲る気持ちで運転を」 H26年度最優秀交通安全標語
安全運転のポイント

■対向右折車を作る「見えない危険」

右折時に対向右折車があると、その後方が死角となり、対向車線の状況が確認しにくくなります。特に対向右折車が大型車やワンボックスカーの場合には死角が大きくなり、死角部分から直進してくる二輪車などを見落とす危険が増します。対向車線の状況が確認しにくいときは、一気に右折するのではなく、徐々に進行して対向車線の状況が見えるところで一時停止して、対向車の有無を確認しましょう。



■対向直進車を作る「見えない危険」

対向直進車が大型車の場合、その後方を走行している後続車の有無が確認できないことがあります。そのため対向直進車の通過直後にいきなり右折をすると、後続車と衝突する危険があります。対向直進車の通過後は一呼吸置いて、必ず後続車の有無を確認するようにしましょう。



■対向左折車を作る「見えない危険」

対向左折車が横断歩道の手前で停止すると、その向こう側が死角となって歩行者や自転車の有無が確認できないことがあります。このようなときに右折してそのまま横断歩道を通過しようとする、横断してきた歩行者や自転車と衝突する危険があります。対向左折車が停止しているということは、横断歩行者や自転車がいるということです。横断歩道の手前で必ず停止しましょう。

